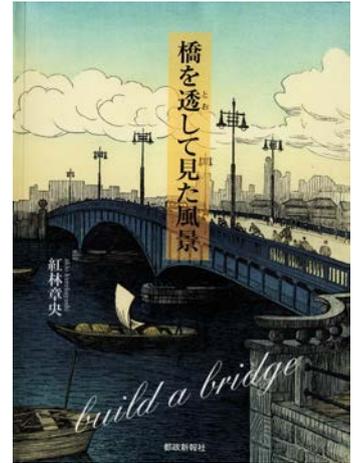


2014年～15年に『都政新報』で話題を呼んだあの連載を単行本化！

とお 『橋を透して見た風景』

紅林章央・著 都政新報社



**90年前の技術者たちが行ったインフラ整備は、
未来を作り出すための不可欠な投資であった—**

ISBN978-4-88614-237-5 C3020 四六判 口絵16頁、本文272頁

紅林章央（くればやし・あきお）東京都建設局橋梁構造専門課長。奥多摩大橋、多摩大橋を始め、多くの橋やゆりかもめ、中央環状品川線などの建設に携わる。

☆特徴

▽江戸時代から現代までの一橋一橋に焦点を当て、成り立ちから特色、当時の技術者らの仕事ぶりを紹介▽震災復興橋梁の正確な建設経緯についても解き明かす▽各時代の珍しい橋の写真の数々も本邦初公開！

★内容

▽江戸時代の橋梁管理はどうであったか▽文明開化の頃に架けられた石橋や、お雇い外国人による西洋式木橋とは？▽永代橋や清洲橋はどうしてあの形になったのか▽太平洋戦争で橋はどんな影響を受けたのか▽戦後、橋梁建設はどう再開され技術を進歩させたか一等

- 1章 江戸時代の橋 両国橋が架けられた理由／江戸時代の橋の管理／土方歳三も渡った石橋／江戸時代の山岳ハイウェイ
- 2章 明治・大正の橋 渋沢栄一に救われた橋 常磐橋／お雇い外国人と橋／東京の近代橋梁の創始者 原口要／明治の橋梁第二世代 原龍太／新技術への挑戦者 倉田吉嗣／私学のダイヤモンド 金井彦三郎／奥多摩に架けられた日本一の橋／東京市橋梁のエース 樺島正義／もう一つの日本橋を架けた男 米元晋一
- 3章 関東大震災 関東大震災での橋の被害／復興局の橋梁技術者たち 太田圓三と田中豊／田中豊が目指した橋の未来形 言問橋／橋梁美の概念を一変させた橋 永代橋と清洲橋／難航した東京市の隅田川架橋 吾妻橋・厩橋・両国橋／天才設計者登場 増田淳／小河川や運河の橋はこうして決められた／二つのコンクリートアーチ橋 成瀬勝武／日本初のフィーレンデール橋 豊海橋／東京市の橋梁技術者たち／若き橋のデザイナー 山田守と山口文象／震災復興で導入された橋の新技術／九十年前の優れた耐震設計／橋の長寿命化に必要なもの／橋詰め広場の役割と変化／橋の設計者とは誰か
- 4章 昭和から太平洋戦争 奥多摩で開かれた橋の展覧会 尾崎義一／勝鬨橋を架けた男 岡部三郎／勝鬨橋はなぜ可動橋になったのか／戦争と橋
- 5章 終戦から現代 橋のなんでも屋 鈴木俊男／時代を先取りした橋の設計者 一ノ谷基／多摩川中流部架橋の光と影／震災復興橋梁を世界遺産に

お申込方法：全国書店でご購入できます。本チラシで弊社直接お申込みの場合、定価 2,484 円のところ、特別価格 2,200 円にて承ります。送料は 1 冊 200 円。2 冊以上は無料です。

お申込み冊数	『橋を透(とお)して見た風景』お申込書	
	お送り先 〒 御社・団体名 お名前	部署名 お電話番号

都政新報社 FAX03 (5330) 8904 新宿区西新宿 7-23-1 TSビル TEL 03-5330-8788